

東京国立 博物館 ニュース

第692号
展示と催し物
案内

2-3 ● 博物館に初もうで

4-5 ● 開山無相大師650年遠諱記念特別展「妙心寺」

6-7 ● 慶應義塾創立150年記念「未来をひらく福澤諭吉展」

8-10 ● 平常展見どころ案内2008年12月・2009年1月

重文 厚板 金紅片身替詩歌模様／特集陳列「文化財の保護」／
特集陳列「古代の輝き ペルシアのガラス器—切子の世界」／
特集陳列「古代技術の保存—古墳時代金属器の修理・模造・復元—」／
竹—重切花入 銘園城寺／游刃有余地

11 ● ミュージアムシアター 新コンテンツ

「法隆寺献納宝物 国宝 金銅灌頂幡」

12-13 ● 教育普及事業 14 ● INFORMATION 15 ● TOPICS

16 ● 2008年12月・2009年1月の展示・催し物

2008 121 2009
月 号



につぼんのお正月

博物館に初もうで

新春恒例、2009年の始まりを東京国立博物館のお正月企画でお楽しみください



図2 ◎駿牛図巻断簡(部分) 鎌倉時代・13世紀
貴族の牛車を引いていたと思われる美しい牛の姿



図1 小袖 茶綸子地四季耕作風景模様
江戸時代・19世紀 中ほどに唐鋤で田を耕す牛がいます

新春特別展示

「豊かな実りを祈る
—美術のなかの牛とひと—」

2009年1月2日(金)～25日(日)

本館特別1室

東京国立博物館のお正月といえ、新年の干支にちなんだ企画展示が恒例となっています。二〇〇九年の展示では、美術のなかで牛(丑)がどのように表され、そこに人々のどのような思いや祈りを読みとくことができるのか、作品を通じてご案内いたします。ここでは、その一部をまずご紹介いたします。

「小袖 茶綸子地四季耕作風景模様」(図1)には、田植え、稲刈りなど四季折々の農作業風景が表現されています。その中央にいる黒い牛にご注目ください。唐鋤をひいて田を耕していることから、これが春の風景であると考えられます。実際、日本や東洋の美術のなかで、牛耕の図柄は春の訪れ、ひいては五穀豊穡と結びつき、古くから好まれてきました。会場では小袖の近くに、同じく牛耕の意匠を含む狩野探幽の「四季耕作図屏風」を並べます。豊かな実りをもたらす牛の姿を、ぜひ見比べてみてください。

作品に描かれた牛は、なにも農耕用に限られません。重要文化財「駿牛図巻断簡」(図2)は、車を引くためと思われる牛を水墨で描いた秀作です。わが国で乗用の動物は馬が普通でしたが、貴族は優雅な牛車に乗って移動しました。車を引く牛の作品が増えていく背景には、富と身分の象徴として牛車が定着していく様子がうかがえます。

国外でも牛は身近な動物として、古くから作品に表されてきました。例えば、ベトナムの「五彩水牛文大皿」(図3)の見込みに描かれた水牛は、部分によって異なる方向から捉えられています。キュビズムを思わせるこの自由な表現手法からは、ただの家畜として水牛を描いたのではなく、特別な思い入れを感じ取ることができるでしょう。

この展示を通して、人が牛に託した五穀豊穡をはじめとする様々なイメージをお楽しみいただければ幸いです。五穀に限らず、皆様にとって本年が実り豊かな年でありますように。(川村佳男)



図3 五彩水牛文大皿 ベトナム 16世紀
自由に表現された水牛はピカソの作品を思わせます

家族で楽しむ お正月のハンズオン アクティビティ

東博牛めぐり&掛軸カレンダー

2009は丑年。東京国立博物館の館内で、牛の作品を探してみましょう!

新年1月2日・3日・4日の三日間、ご来館のみなさまに東博牛めぐりパンフレットをお渡しします。

新春特別展示「豊かな実りを祈る—美術のなかの牛とひと—」や、東洋館の展示室には、いったいどんな牛がいるでしょうか? パンフレットを見て牛の作品を探し、クイズに教えてください。正解した人にはオリジナル賞品をプレゼント(プレゼントは中学生以下)。

パンフレットの裏側は2009年のカレンダーになっています。掛軸デザインの良い台紙に、「あいさつ」「仲良し」「日本一」など、今年の目標をスタンプで押して、自分だけのカレンダーを作りましょう。

◆掛軸カレンダーを作ろう!

2009年1月2日(金)～4日(日) 10時～16時
本館20室「みどりのライオン」ハンズオン体験コーナー

◆展示室で牛を探そう!

東博牛めぐりパンフレットは、本館特別1室、本館20室「みどりのライオン」と東洋館エントランスで配布します。答え合せは、本館20室「みどりのライオン」で。

香炉 江戸時代・17世紀





◎梅花双雀图 伝馬麟筆 南宋時代・13世紀 山本達郎氏寄贈

中国吉祥図の豊かな世界

特集陳列「吉祥——歳寒三友」

2009年1月2日(金)～2月1日(日)

東洋館第8室 中国の絵画

厳しい寒さの中、松と竹は常緑を保ち、梅は百花に先駆けて開花し清香を放つことから、中国において松、竹、梅は、節度を守り不変の志をもつものとして「歳寒三友」と称えられてきました。また、松は不老長寿、竹は平安、子孫繁栄、梅は子孫繁栄(安産)などの象徴でもあります。

さらに中国の花鳥画に描かれる多くの事物には、例えば、蓮、水鳥、魚は豊かさ、牡丹は富貴、桃は長寿、葡萄、瓢箪、石榴は子孫繁栄、鳳凰は天下泰平、蝙蝠は福を象徴するように、人々のさまざまな願いがこめられています。それらは吉祥図として、人々に親しまれてきました。新年にあたり、歳寒三友(松・竹・梅)を中心に中国の吉祥図の豊かな世界的一端をごらんください。

(湊 信幸)

清貧な聖の生涯

国宝 一遍上人絵伝 巻第七

11月26日(水)～2009年1月4日(日)

本館2室 国宝室

今に伝わる時宗の開祖、一遍上人(一二三九～八九)の没後十年を期して描かれた上人の伝記絵巻。全十二巻からなりますが、この第七巻はそこから古くに別れ、当館の所蔵となっています。一遍上人自身は、生涯の多くを阿弥陀仏へのひたすらなる祈りを説いて清貧な旅暮らしに終えました。しかしながら絹に描かれている点、また詞書はさまざまな色の下塗りがある点は、普通の絵巻とは違っても贅沢なものです。上人は貴族階級から社会の底辺の人々まで、多くの信仰を集めました。その様は絵巻の中によく描かれています。この絵巻はかなりの貴族の後ろ盾があつて作られたものでしょう。

円伊という画家が中心になって描いたようすが、詳しいことは明らかではありません。しかし、広々とした天地の風景の中を上人が旅行く詩情、その中で生活するさまざまな人びとの様子がみごとに描かれた名品です。実物に接してゆっくりとつぶさにご覧ください。

(小林 達朗)



●一遍上人絵伝 巻第七(部分) 円伊筆 鎌倉時代 正安元年(1299)

新春イベント

雨天時は場所を変更、または中止になることがあります。

2009年1月2日(金)

- 10:30 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
- 11:00 和太鼓演奏 和太鼓御響 正門内池前
- 12:00 江戸の遊芸(江戸売り声) 宮田章司氏 本館前
- 13:00 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
- 13:30 和太鼓演奏 和太鼓御響 正門内池前
- 14:30 江戸の遊芸(江戸売り声) 宮田章司氏 本館前

2009年1月3日(土)

- 10:30 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
- 11:00 和太鼓演奏 和太鼓御響 正門内池前
- 12:00 クラリネット・コンサート アマトゥール 平成館ラウンジ
- 13:00 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
- 13:30 和太鼓演奏 和太鼓御響 正門内池前
- 14:30 クラリネット・コンサート アマトゥール 平成館ラウンジ

ミュージアムシアター

2009年1月2日、3日の各日先着60名様に記念品をプレゼント。本誌11ページでご紹介している新コンテンツ「法隆寺献納宝物 国宝金銅灌頂幡」をお楽しみください。上演日、上演時間等については本誌16ページでご確認ください。

いけばな

2009年1月2日(金)～1月12日(月・祝)

真生流家元 山根由美氏

寛永寺との連携事業

2009年1月2日(金)、3日(土) 10:00～15:00

寛永寺根本中堂特別参拝

根本中堂、徳川歴代将軍の肖像画(油画)、天下三銘石之一「黒髪山」を公開します。また、最近の修理によって江戸時代・元禄15年(1702)に作られたことが明らかとなった、木彫の十二神将像も公開します。

新春東博寄席

2009年1月11日(日)13:30～ 平成館大講堂

出演:金原亭馬生ほか

料金:2,000円 全席自由

申込方法:当館での窓口販売および電話予約販売

※当日平常展をご覧ください。

※申込方法の詳細は本誌14ページをご覧ください。

問い合わせ先 東京国立博物館イベント担当

TEL 03-3821-9270

ミュージアムショップからお年玉プレゼント

2009年1月2日(金)、3日(土)

ミュージアムショップで2,500円以上お買い上げの方に抽選でミュージアムグッズをプレゼント

2009年1月2日(金)～12日(月・祝)

美術書バーゲンセール

レストラン・ラコールからお年玉プレゼント

2009年1月2日(金)、3日(土)

お一人様1,500円以上ご利用のお客様に抽選でプレゼント

[A賞] 精養軒オリジナルお菓子

ガトー・セレクション

[B賞] 精養軒オリジナルワイン

ハーフボトル(白)1本

ホテルオークラ・ガーデンテラスから甘酒振る舞いサービス

2009年1月2日(金)、3日(土)

レストランご利用のお客様に甘酒をサービス

開山無相大師六五〇年遠諱記念
特別展

妙心寺

妙心寺の開創

花園法皇をはじめ関山慧玄の師、宗峰妙超（大燈国師一二八二～一三三七）に帰依していました。宗峰妙超は最晩年の建武四年（一三三七）、法皇の要請に応じ、離宮に創建する寺の山号を正法山、寺号を妙心寺と命名し、また自分の没後に法皇が参禅する師として弟子の関山慧玄を推挙しました。この建武四年は妙心寺開創の年とされますが、まだ伽藍は整備されておらず、関山もこのとき京都にはいなかったのです。関山は自らの意志で語録や筆跡、肖像画などを残さなかったため、関山慧玄に関わる一次資料はほとんど現存せず、「没跡」の禅匠と呼ばれます。ここでは関山が師の宗峰妙超から与えられた「宗峰妙超墨蹟 関山道号」（図1）や、花園法皇が晩年の貞和三年（一三四七）に関山に宛てて妙心寺造営の宿願を記した「花園天皇宸翰 置文（往年の宸翰）」など、関山と開基、ならびに妙心寺の開創に関わる作品をとりあげます。

妙心寺の中興

関山没後の妙心寺は、室町時代に将軍足利義満による中絶処分や応仁の乱による伽藍焼失など、幾多の苦難を被ります。ここでは、中絶後の再興に力を尽くした日峰宗舜（七世）と義天玄詔（八世）、応仁の乱後の復興に努めた雪江宗深（九世）、そして雪江の四人の高弟で、四派の祖となる景川宗隆、悟溪宗頤、特芳禅傑、東陽英朝といった名僧たち、また檀越として復興に寄与した細川家や、広大な境内地を寄進した利貞尼に関わる諸作品をとりあげます。

京都駅から西北の方角に約五・五キロの位置にある巨剎、妙心寺は臨済宗妙心寺派の大本山です。妙心寺は、花園法皇（一二九七～一三四八）が自らの離宮を禅寺としたことに始まります。そして開山（初代の住持）として迎えられたのが、のちに明治天皇から無相大師の号を贈られる関山慧玄（一二七七～一三六〇）でした。本展は開山関山慧玄の六五〇年遠諱を記念して開催するものです。



図3 菊唐草文玳瑁螺鈿合子
高麗時代・13～14世紀 京都・桂春院蔵
高麗時代の貴重な螺鈿作品

図2 ●瓢鮎図（部分） 如拙筆 大岳周崇等31名賛
室町時代・15世紀 京都・退蔵院蔵
足利將軍家の御用絵師であった如拙の代表作
展示期間：2月10日～3月1日



伝世の名宝

飛鳥時代の「梵鐘」(国宝)や「瓢鮎図」(国宝・図2)、「菊唐草文玳瑁螺鈿合子」(図3)など、妙心寺に伝わる選りすぐりの名宝をご紹介します。

近世の妙心寺

近世に入ると妙心寺は豊臣秀吉、徳川家康をはじめとする武将による帰依・支援を集めて伽藍の整備も進み、塔頭も相次いで創建されました。また江戸中期には臨済宗中興の祖と呼ばれる白隠が現れ、禅僧自身による書画の世界に新風が巻き起こります。ここでは快川紹喜、南化玄興、鉄山宗鈍、雲居希膺から白隠にいたる名僧の墨蹟や肖像、春日局をはじめとする檀越の肖像などをまずとりあげます。また妙心寺山内の塔頭寺院を飾る襖絵は多種多様で、妙心寺は障屏画の宝庫です。なかでも海北友松や狩野山楽による豪壮華麗な屏風(図4・5)や、アメリカから里帰りする狩野山雪の「老梅図襖」(メトロポリタン美術館蔵は、まばゆい金の輝きと鮮やかな色彩で私たちを圧倒します。

(救仁郷秀明)

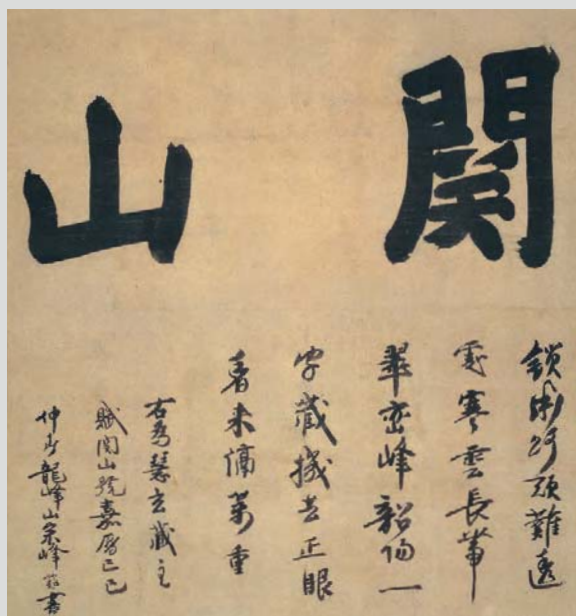


図1 ◎宗峰妙超墨蹟 関山道号 鎌倉時代・嘉暦4年(1329) 京都・妙心寺蔵
墨蹟(禅僧の書)の名品として古来名高い。関山慧玄が師の宗峰妙超から「関山」の道号を与えられたことを証する根本資料でもある
展示期間:1月20日～2月8日



図4 ◎龍虎図屏風 狩野山楽筆
安土桃山～江戸時代・
16～17世紀 京都・妙心寺蔵
友松の花卉図屏風とともに
「妙心寺屏風」と呼ばれる、
ひとまわり大きいサイズの屏風
展示期間:1月20日～2月8日

図5 ◎花卉図屏風 海北友松筆
安土桃山～江戸時代・16～17世紀 京都・妙心寺蔵
華やかさと力強さを兼ね備えた友松の名品
展示期間:2月10日～3月1日



開山無相大師650年遠諱記念

特別展「妙心寺」

2009年1月20日(火)～3月1日(日)
東京国立博物館 平成館特別展示室第1～4室

主催:東京国立博物館、臨済宗妙心寺派大本山妙心寺、読売新聞東京本社

協賛:野崎印刷紙業 特別協力:花園大学 協力:臨済会

観覧料:一般1,500円(1,300円/1,200円) 大学生1,200円(1,000円/900円) 高校生900円(700円/600円)

※()は前売/団体 ※中学生以下は無料(生徒手帳など年齢のわかるものをご提示ください) ※団体は20名以上 ※障害者とその介護者1名は無料(入館の際に障害者手帳などをご提示ください) ※「未来をひらく福澤論吉展」は別途観覧料が必要です

お問い合わせ:03-5777-8600(ハローダイヤル) 展覧会公式サイト: <http://www.myoshinji2009.jp/>

立 150 年 記 念

福澤諭吉展

FUKUZAWA Yukichi : Living the Future



色絵金銀文重茶碗 野々村仁清作
江戸時代・17世紀 静岡・MOA美術館蔵
実業人、そして茶人として知られる
益田孝(鈍翁)、克徳に続く三兄弟の末弟で、
益田英作(紅艶)のコレクション

「独立自尊迎新世纪」遺墨
明治34年(1901)
慶應義塾福澤研究センター蔵
20世紀を迎えた朝に書かれた
福澤の絶筆となった

異端と先導——文明の進歩は異端から生まれる

二〇〇八年は、慶應義塾が創立されてからちょうど百五十年にあたります。それを記念して、特別展「未来をひらく福澤諭吉展」が開かれることになりました。

一万円紙幣の顔として、私たち日本人に親しまれている福澤諭吉(一八三五―一九〇一)。福澤が、江戸築地にあった中津藩(現在の大分県中津市)奥平家の敷地に蘭学塾を開いたのは、安政五年(一八五八)のことです。当時、大坂で緒方洪庵(一八一〇―一六三)の適塾に学んでいた

福澤は、二十三歳の若さにしてすでに塾長をつとめる立場にありました。著名な蘭学者であり、人徳者としても知られた洪庵に随ったことは、福澤の活動に大きな影響を与えます。「福澤山脈と呼ばれる彼の門下には、朝吹英二(一八四九―一九一八)、益田克徳(一八五二―一九〇三)、武藤山治(一八六七―一九三四)、池田成彬(一八六七―一九五〇)、そして松永安左衛門(一八七五―一九七一)など、のちに近代日本の政財界をリードした功労者たちが名を連

ねるのです。

江戸に出て私塾を開いた福澤は、その後独学で英語を学び、万延元年(一八六〇)、日本で初めて太平洋を往復したことで知られる軍艦咸臨丸に乗ってアメリカへ渡り、引き続きヨーロッパ諸国も巡遊します。先進各国の政治、経済、文化の動きを、身近に強く感じとったことでしょう。この一連の渡航で視野を広げた福澤は、帰国後「異端」と排斥されることを恐れず、一民間人の立場を貫きながら、積極的に言論活動を行いました。



慶應義塾創立150年記念

「未来をひらく福澤諭吉展」

2009年1月10日(土)～3月8日(日) 東京国立博物館 表慶館

主催:東京国立博物館、慶應義塾、フジサンケイグループ(主管:産経新聞社) 協賛:鹿島建設、損害保険ジャパン、大王製紙、大日本印刷、大和証券グループ、トヨタ自動車、久光製薬、JR東日本
観覧料:一般1,200円(1,000円/900円)大学生1,000円(800円/700円)高校生800円(600円/500円)

※()は前売/団体 ※中学生以下は無料(生徒手帳など年齢のわかるものをご提示ください) ※団体は20名以上

※障害者とその介護者1名は無料(入館の際に障害者手帳などをご提示ください)

※特別展「妙心寺」は別途観覧料が必要です

お問い合わせ:03-5777-8600(ハローダイヤル) 展覧会公式サイト: <http://fukuzawa2009.jp/>

未来をひらく

The 150th Anniversary of Keio University

した。「^{どつしん}独立自尊」の信念に基づいた先鋭的なその言動は、悩み迷いの多い現代の私たちにも学ぶべきところの多いものばかりです。幕末から明治の混乱の時代に、個人の自立と男女平等を唱え、友人、門下生を大きな愛情をもって最後まで支え続けた福澤の姿は、まさに力強く自由な「未来への先導者」そのものであったことでしょう。

この展覧会では、まず多岐にわたる福澤諭吉の思想とその活動を、第1部から6部にわたってご紹介いた

します。

第1部「あゆみだす身体」、第2部「かたりあう人間（じんかん）」、第3部「ふかめゆく智徳」、第4部「きりひらく実業」、第5部「わかちあう公」、第6部「ひろげゆく世界」。まず、福澤の日常の遺愛の品から彼の等身大の姿を再現し、次に市民の自立や男女間の平等を説いた教育活動や実業界への貢献、そして思想家、ジャーナリストとしてのさまざまな活動に至るまでを、貴重な写真資料や著書等を中心にご紹介します。

さらに第7部では、芸術が社会と人間に果たす役割の重要性を説いた福澤の教えに従い、彼の門下生たちが収集した美術作品をご覧ください。まず、いずれも「近代数寄者」と称される著名な茶人であり美術収集家たちです。また、慶應義塾所蔵の貴重な作品もここで展示されます。

激動の時代を生きた一人の偉人、福澤諭吉。彼の遺した言葉、その生き方は、現代の私たちにとって貴重な財産です。本展覧会を是非お見逃しなく。

（三笠景子）

山口良藏宛書簡（部分）

江戸時代・慶応4年（1868）閏4月10日付

慶應義塾福澤研究センター蔵

「慶應義塾」と命名した直後、その教育理念について友人に語った手紙。初公開



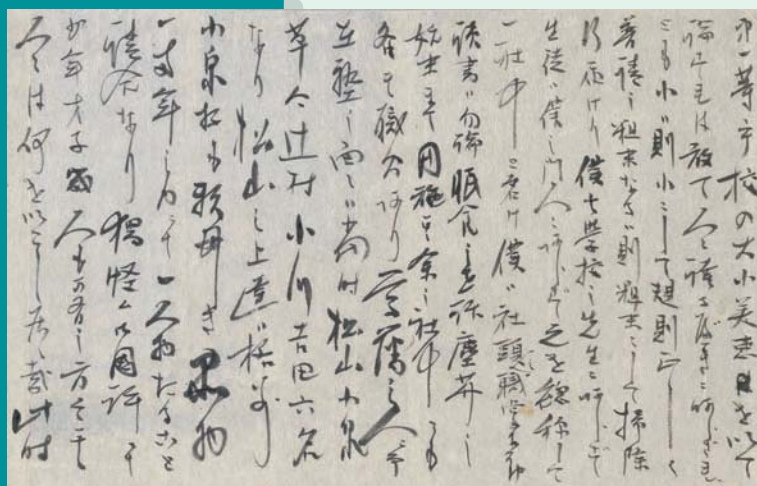
ロンドンでの福澤諭吉

江戸時代・文久2年（1862）

慶應義塾蔵 幕府遣欧使節の一員

としてロンドンを訪問した際に

撮影されたもの



これだけは
見逃せない!
おすすめの
この1点

「和漢朗詠集」より新春にふさわしい詩歌六首

重文 厚板 金紅片身替詩歌模様

12月23日(火・祝)〜2009年3月1日(日)
本館9室 特集陳列「厚板」より

立春 池氷東頭風渡解 窓梅北面雪封寒

立春 としのうちに はるはきにけりひ

ととせを こそとやいはむ こと

しとやいはむ

立春 はるたつと いふばかりにや み

よしのの やまもかすみて けふ

はみゆらむ(以上、背面)

鶴 聲来枕上千年鶴 影落盆中五老峯

鶴 あまつかせ ふけるのうらに ゐ

るたつの なとかくもゐに かへ

らさるべき

紅梅 きみならて たれにかみせむ む

めのはな いろをもかをも する

ひとそしる(以上、前面)

いにしえびとの新春への思いが伝わってきます

ます。紅と金という組み合わせには、舞台を

見る人々に吉祥が兆す効果を感じられます。

厚板は、通常は男性役を演じる能役者が、

狩衣や法被といった表着の下に着用するので

すが、他に類例のない、このように珍しいデ

ザインの厚板は、どんな役に着用したのでし

ようか。江戸時代の能舞台を想像しながら、

新春の晴れやかな気分を味わってください。

厚板とは、もともと分厚い板に巻かれて中国から舶載された高級織物の名称でした。室町時代、私貿易を通じて中国製を手に入れた武将たちが能役者に下賜し、そのような織物でできた能装束も厚板と呼んだようです。安土桃山から江戸時代以降は、もっぱら日本で織られた綾織物を使用するようになりました。厚板のデザインは時代によって変遷が見られ、伝統芸能というものの、やはり、それぞれの時代の好みがあったことがうかがわれます。今回、ぜひご紹介したいのは、五代將軍徳川綱吉(一六四六〜一七〇九)が能楽に耽溺した頃に流行した金糸使用に、復古調のデザインを加味した豪華壮麗な厚板です。

この厚板は、片身替といって、半身を金地に、半身を紅地にした大胆なデザインです。一見斬新に見えるのですが、室町時代や安土桃山時代には小袖のデザインにしばしば見られた様式で、中世のデザインを復古的に採用しています。模様は、「和漢朗詠集」から新春にふさわしい六つの詩歌が引用され、当時流行した「御家流」と呼ばれる書体で文字模様が織り出されています。折角ですから、その詩歌もここで詠み返してみましよう。

(小山弓弦葉)



◎厚板 金紅片身替詩歌模様 奈良・金春座伝来 江戸時代・17〜18世紀
豪奢でありながら、幽玄を感じさせます。金糸をふんだんに使用した織物には、当時、最新の技術を駆使しています

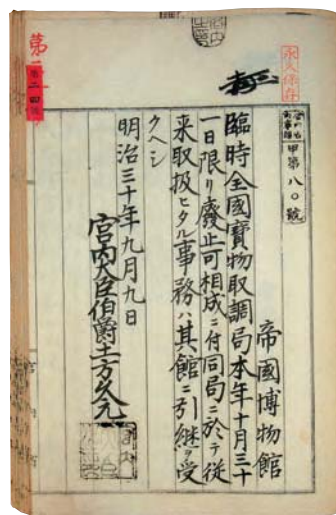
注目の 特集

本館16室 歴史資料

「歴史を伝える」シリーズ

特集陳列「文化財の保護」

12月9日(火)～2009年1月25日(日)



臨時全國寶物取調局廃止の書類
〔帝國博物館 明治30年 例規録〕より

に伴って制作された模写・模造品の制作に、後にその後各分野で大成する芸術家となる人物たちが関わっていたかを紹介します。

(富坂賢)

東洋館第3室 西アジア・エジプトの考古美術

まばゆい輝きはシルクロードを経て日本まで

特集陳列「古代の耀き ペルシアのガラス器
―切子の世界―」

11月18日(火)～2009年2月1日(日)

昨年度に引き続き、当館寄託の古代ガラス作品を陳列します。今回は切子の容器がテーマです。切子とは器物の表面をグラインダーで削って面取り装飾する技法で、透明の寶石やガラスに施されると、差し込んだ光は複雑な屈折・反射を経て、まばゆい輝きとなって、私たちの目に届きます。

ペルシアの切子ガラスは、アケメネス朝に始まりますが、ササン朝時代に大発展し、国際的ヒット商品となりました。東大寺正倉院の「白瑠璃碗」(四～五世紀)や伝・安閑天皇陵出土の円形切子碗(六世紀。平成館考古展示室で陳列)は、シルクロードを経て日本に到達した例です。切子の技法は、ヘレニ



二重円形切子碗 イラン出土 ササン朝・6世紀 個人蔵

ズム以来の地中海地方でも見られ、また中東ではイスラム時代にも継承されました。

(後藤健)

平成館 企画展示室

考古資料相互活用促進事業

特集陳列「古代技術の保存と復元
―古墳時代金属器の修理・模造・復元―」

12月16日(火)～2009年2月8日(日)

東京国立博物館をはじめとする文化財所有者は、文化財の公開とともに保護についても大きな責任を負っています。このことを広く知っていただくために、当館では昨年に文化財保護の出発点として知られる、明治五年(一八七二)実施の「壬申検査」を紹介しました。それに続いて今回の特集では、明治二〇年代に行なわれた「臨時全國寶物取調」についてご紹介します。

「臨時全國寶物取調」は、「壬申検査」で得た経験をもとに行なわれ、わが国で初めて全国的な文化財の所在・現状の把握を企図し、国家的な水準で価値付けされたもので、後の指定制度につながる基本的事業でした。

展示では当時の文書や記録から、いかに広範に国家をあげて取り組まれたかをご覧いただき、さらに調査



銜角付冑残欠〔修理後〕
京都府城陽市平川 久津川車塚古墳出土

博物館では文化財の保存や展示などの活用のためにさまざまな活動を行ないますが、状態によっては修理・模造・復元を実施しています。

しかし、考古資料は埋蔵文化財の特質によって、他の文化財に比べて劣化・破損・変形等による原形の喪失が著しく、製作当初とは姿が大きく異なる場合がほとんどです。そこでレプリカ製作で現状の保存・記録化を図ったり、修理で積極的に復元

することも少なくありません。さらに製作当初の姿を再現する試みも進められています。

当館では、平成十年度から、毎年地方博物館との交換事業を実施しています。11回目にあたる今年度は古墳時代金属器の模造品等を集集しま

す。福島県文化財センター白河館所蔵の最新の復元模造品を中心に、当館の昭和初期の復元模造品や近年の修理復元・模造例を比較し、博物館における修理・復元・模造のあり方を考えます。

(古谷毅)



模造 金銅製冑
原品：群馬県前橋市 金冠塚古墳出土



本館4室 茶の美術

園城寺の破れ鐘になぞらえた竹花入 竹一重切花入

銘園城寺千利休作

11月18日(火)～
2009年3月1日(日)



竹一重切花入 銘園城寺 千利休作
安土桃山時代・天正18年(1590) 松平直亮氏寄贈
展示室では「園城寺 少庵」の銘が刻まれた背面もご覧ください

天正十八年(一五九〇)の豊臣秀吉の小田原攻めに同道した千利休(一五二二～九一)が、伊豆・葦山の竹で作った三種の竹花入のなかの一つであり、竹花入の古典としてよく知られています。利休は草庵の茶にふさわしい道具を徹底的に選択し、創作しました。竹花入は、それまでの胡銅や青磁の花入に代わり、荒壁の床に掛ける花入として、利休の創意によって生み出されました。銘の「園城寺」は、表面に生じた大きな干割れを園城寺の破れ鐘になぞらえて、利休の養子の千少庵(一五四六～一六一四)により名付けられました。(今井敦)

本館11室 彫刻

愛らしく可憐な文殊様 文殊菩薩立像

2009年1月6日(火)～
4月12日(日)

経典にとかれるとおり童子形に表わされる、愛らしく、また可憐な文殊菩薩像です。切れ長の目、小ぶりの鼻や口元、ふっくらした頬などの表現から、鎌倉時代に奈良の地で活躍した仏師善円(一一九七～一二五八)の作品と考



文殊菩薩立像 鎌倉時代13世紀

えられます。奈良国立博物館十一面観音立像など、この像と表現や大きさが近似するものが残っており、もとは五軀一具の春日本地仏(四所明神と若宮)のうちの一軀であったと考えられます。彩色はよく残っており、体の色はほのかに赤みをおびますが、その上にうすく金泥が塗られていることがわかります。(丸山士郎)

本館18室 近代美術

道を窮めた達人・庖丁への憧憬 游刃有余地 横山大観筆

12月23日(火・祝)～
2009年1月25日(日)

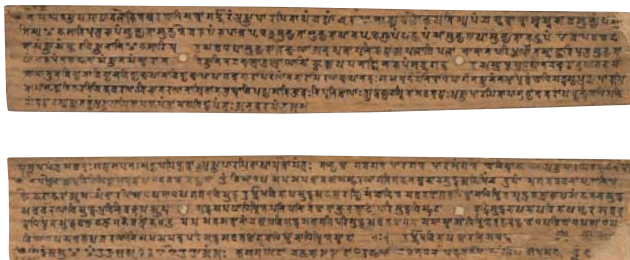
「其の刃を遊ぶに必らず餘地有り」この絵の典拠は『莊子』「養生主篇」。現在私たちの使う刃物・包丁の語源となる逸話です。主君である文惠君を前に、驚くべき鮮やかさで牛をさばいてみせた庖丁が、その奥義を語っているところです。「はじめは牛の外見にとらわれていた。しかし、心の目で見るようになってからは、牛の骨を切らずにその間の肉のみを切ることができるようになった」名人の域に達した庖丁の顔は浅黒

法隆寺宝物館第6室 書跡

最も古い貝葉経の一つ 重文 梵本心経および尊勝陀羅尼

12月23日(火)～2009年2月22日(日)

古代インドでは、多羅樹の葉を乾燥させ裁断した貝多羅葉(貝葉)に経典を書写していました。今回紹介するのは、貝葉の第一葉に般若心経が、第二葉の二行目から延命長寿などの功德があるという仏頂尊勝陀羅尼が、最後の行には梵字悉曇の字母(摩多)が書写された貝葉経です。約五×二八cmの貝葉に七本の界線を引



◎梵本心経(上)および尊勝陀羅尼(下) 後グプタ時代・7～8世紀
2箇所穴は、紐を通して束ねるためのもの。法隆寺蔵納宝物



游刃有余地 横山大観筆 大正3年(1914)
右幅の文惠君は黄の衣を着ています。黄色は陰陽五行では中央を意味し、王の服装に用いられます

く、白いひげを蓄えて笑みを浮かべたその異様な顔はまるで仙人のよう

です。道をきわめた庖丁への大観の憧憬が感じられます。(植田彩芳子)

『国宝 金銅灌頂幡』

幡は梵語でパータカといい、中国で幡と漢訳されました。わが国では、壬午年（八八二）在銘の平絹幡の墨書から、七世紀末には「耆田（はた）」と呼ばれていたことが知られています。幡は、わが国へは仏教伝来の初期に、すでに朝鮮半島からもたらされていたようです。『日本書紀』には、五三二年に百濟の聖明王が釈迦金銅仏像、経巻とともに「幡蓋」を献じたと記されています。法隆寺献納宝物中に数ある染織製や金銅製の幡は、幡身の坪の形が細長いところに特色があります。朝鮮半島からもたらされた幡もこのような形のものでしたのでしょうか。なかでも金銅灌頂幡はわが国古代の金工品を代表する優品として著名です。

め賜う 納めし時を知らず」と記されているものに当たると考えられ、灌頂幡の名もこの記事に由来しています。如来三尊像や天人、唐草文などを透彫と毛彫で表わした金銅板を、鉾止めや蝶番で組み上げる仕様で、四角い傘形の天蓋に六連からなる大幡と、三連からなる小幡四組を下げる構成となっています。天蓋の軒先には多くの垂飾が飾られ、さらに当初は幡身の最下部に染織幡と同様、布製の幡足が垂れていたと推測されます。

この灌頂幡は、聖徳太子が勝鬘經を講讀した折りに掛けたという寺伝から、推古朝のものとしてきましが、如来三尊像の姿や文様の意匠の特色から、七世紀後半に法隆寺が再建される頃の制作と考えられます。（加島勝）



●金銅灌頂幡 飛鳥時代・7世紀
法隆寺献納宝物
透彫と毛彫によって如来三尊像や天人などが表わされた第1坪(左)
天蓋、大幡、四隅小幡などが組み合わさった全体の姿(右)



新
コンテンツ

『法隆寺献納宝物 国宝 金銅灌頂幡』

11月28日(金)～3月29日(日)の
金・土・日・祝・休日(12月23日(火・祝)を除く)

VR(バーチャルリアリティ)による文化財や文化遺産の新しい鑑賞体験を提供する場として、東京国立博物館と凸版印刷株式会社が共同で二〇七〇年十一月に開設した「TNM & TOPPANミュージアムシアター」は、おかげ様で一周年を迎えることができました。毎回、大勢のお客様に会場していただき、好評を博しております。このたび新たな上映作品「法隆寺献納宝物 国宝 金銅灌頂幡」が完成いたしましたので、その内容をご紹介します。

法隆寺宝物館の第一室で展示している灌頂幡は、経年による傷みが著しく、天蓋、大幡、四隅小幡などを別々のケースに納めています。このため制作当初の姿がわかりにくい状態にあり、また表面には錆や汚れが付着し、透彫と毛彫によって表わされた如来三尊像や天人などの美しい姿もよく見ることができません。ミュージアムシアターでは、図様の細部まで手に取るように見ることができ、また染織製の幡と同じく大幡の最下部に幡足をつけ、全長が十メートルを超える制作当初の姿を復元しました。法隆寺は天智九年（六七〇）の火災により全焼し、その後再建されたのが、現在の西院伽藍だといわれています。今回、灌頂幡は、この再建の過程で金堂が完成した時の落慶供養に際し、聖徳太子の娘の片岡御祖命が奉納したものと推定し、完成したばかりの金堂の前に掲げられた灌頂幡の様子を復元してみました。このようにVRならではの特色をいかした内容を、ぜひ会場でゆっくりご覧ください。（加島勝）

ミュージアムシアター
TNM & TOPPAN MUSEUM THEATER



VRによる映像(※画像は制作途中のものであり、実際の映像とは異なります)

上演日、上演時間等については本誌16ページでご確認ください。

平成20年度 東京芸術大学学生ボランティアによる 制作工程模型の展示とギャラリートーク

平成16年度から始まった、東京芸術大学学生ボランティアによる「制作工程模型」が、今年度も作成されました。今回は初めて絵画をテーマにし、重要文化財「一字金輪像」の制作工程模型の展示を本館20室「みどりのライオン」で行います。作業過程で得られた知見を、模型を前にご紹介するギャラリートークも予定されています。皆さまの鑑賞のお役に立てば幸いです。

◇制作工程模型展示：2009年1月14日(水)～3月29日(日)

◇ギャラリートーク：古賀海人

実施日時：2月17日(火)、2月19日(木)、2月21日(土)、2月22日(日)、2月25日(水) 各日 15:00～15:30

解説場所：本館20室 みどりのライオン 集合場所：本館1階エントランス

ボランティアによる新しいガイドツアー 「探検！古代エジプト・西アジア」

東京国立博物館は日本の古美術品のみならず、東洋の様々な地域や時代の作品も所蔵しています。それらは主に東洋館で展示されており、各地域の特色を比較したり日本美術の源流をたどることができます。その中でも「棺とミイラ」に代表されるエジプト・西アジアの考古美術品は、開館以来常に展示され、皆様にひとときわ親しまれて来ました。そこで、エジプト・メソポタミアの古代文明とペルシアの魅力に迫るガイドツアーを実施し、初めての方にも楽しくご観覧いただきたいと思います。

実施期間：2008年12月3日(水)～2009年2月11日(水・祝)の水・日曜日

実施時間：11:00～11:30 15:00～15:30 (※ただし12月28日(日)・12月31日(水)・1月4日(日)は実施致しません。)

集合場所：東洋館エントランス



パシェリエンブタハのミイラ エジプト、テーベ出土 新王国時代、第22王朝時代・前935～前730年頃 G・マスベロ氏寄贈



東洋館(アジアギャラリー)



石彫ヘラクレス立像 イラク、ハトラ出土 パルティア時代・1～2世紀 イラク考古総局寄贈

ボランティア募集のお知らせ 平成21年度 生涯学習ボランティア募集

東京国立博物館では来館者の生涯学習の機会の増大とサービスの向上を図るためにボランティアによるさまざまな活動を行っています。館内案内、教育スペース「みどりのライオン」や講演会などの運営補助、資料整理、ガイドツアーなど、来館されるお客様をお手伝いする活動をしてみませんか。活動期間は2009年4月から3年間。応募受付期間は2008年12月1日(月)～2009年1月9日(金)。詳細は、当館ホームページ(<http://www.tnm.jp/>)あるいは本館インフォメーションで。

*お問い合わせ 当館ボランティア室 Tel 03-3822-1111(代表)

月例講演会

「仮名手本忠臣蔵をめぐる、歌舞伎とおきの話」

本館10室の浮世絵の展示(12月14日まで)に関連して、歌舞伎に関する著作の多い関さんにお話を伺います。

講師：関容子氏(エッセイスト)

日時：12月13日(土) 13:30～15:00(開場13:00)

会場：平成館大講堂 定員：380名(当日先着順)

聴講無料(ただし当日の入館料は必要)



仮名手本忠臣蔵・初段 葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀

「繊細華麗なインド細密画の世界」

東洋館第3室の特集陳列「インドの細密画」(1月14日～4月5日)に関連した講演会です。

講師：肥塚隆氏(大阪人間科学大学／大阪薫英女子短期大学学長、南アジア・東南アジア美術史)

日時：2009年1月31日(土) 13:30～15:00(開場13:00)

会場：平成館大講堂 定員：380名(当日先着順)

聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

記念座談会

「古墳時代金属器の修理・模造と復元」

特集陳列「古代技術の保存と復元——古墳時代金属器の修理・模造・復元」(12月16日～2009年2月8日)に関連して、専門家による座談会を開催します。

出演：押元信幸氏(金工作家・川口短期大学こども学科 専任講師)
依田香桃美氏(金工作家・Lemi's Metalwork Studio主宰)
鈴木勉氏(奈良県立橿原考古学研究所 共同研究員)
古谷毅(当館考古・工芸室長)

日時：2009年1月18日(日) 13:30～16:00(開場13:00)

会場：平成館大講堂 定員：380名(当日先着順)

聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

未来をひらく福澤諭吉展記念講演会

「未来をひらく福澤諭吉展」を記念して、講演会を開催します。

記念講演会

第1回

「私にとっての福澤諭吉」 福澤武氏(慶應義塾評議員会議長・三菱地所株式会社相談役)

「福澤諭吉の公共性の哲学」 猪木武徳氏(国際日本文化研究センター所長)

日時：2009年1月12日(月・祝) 13:30～15:45(開場13:00)

会場：平成館大講堂 定員：380名

聴講無料(ただし「未来をひらく福澤諭吉展」観覧券[半券でも可]が必要)

申し込み締め切り：12月12日(金)必着

第2回

「同床異夢の教育—福澤諭吉と近代日本の教育」 米山光儀氏(慶應義塾福澤研究センター所長)

「福澤門下の美術コレクション」 鷺塚泰光氏(前奈良国立博物館長・元東京国立博物館次長)

日時：2009年2月7日(土) 13:30～15:45(開場13:00)

会場：平成館大講堂 定員：380名

聴講無料(ただし「未来をひらく福澤諭吉展」観覧券[半券でも可]が必要)

申し込み締め切り：1月13日(火)必着

申し込み方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・聴講希望する講演会の日付を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記して下記までお申し込みください。

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9 ヤマナシビル(ウインドム内)「福澤諭吉展」広報事務局 講演会[(1)1月12日または(2)2月7日]係

1枚の往復はがきで1つの講演会に最大2人の応募可。2人の場合はそれぞれの氏名を必ず明記のこと。応募多数の場合は抽選の上受講券をお送りします。

妙心寺展関連事業

妙心寺展を記念して、講演会・坐禅会・禅トークを開催します。

記念講演会

第1回

「禅の絵画」 福島恒徳氏(花園大学文学部文化遺産学科教授)

「賊機あり」 阿部浩三老師(臨済寺専門道場師家・花園大学学長)

日時：2009年1月24日(土) 13:30～15:30

会場：平成館大講堂 定員：380名

聴講無料(ただし「妙心寺展」観覧券[半券でも可]が必要)

申し込み締め切り：12月24日(水)必着

第2回

「近世前期妙心寺派墨蹟の魅力」 丸山猶計(当館特別展室研究員)

「禅について」 松原哲明師(臨済宗妙心寺派龍源寺住職)

日時：2009年2月14日(土) 13:30～15:30

会場：平成館大講堂 定員：380名

聴講無料(ただし「妙心寺展」観覧券[半券でも可]が必要)

申し込み締め切り：2009年1月21日(水)必着

申し込み方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・聴講希望する講演会の日付を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記して下記までお申し込みください。

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9 ヤマナシビル(ウインドム内)「妙心寺展」広報事務局 講演会[(1)1月24日または(2)2月14日]係

1枚の往復はがきで1つの講演会に最大2人の応募可。2人の場合はそれぞれの氏名を必ず明記のこと。応募多数の場合は抽選の上受講券をお送りします。

坐禅会

東京国立博物館の庭園内にある九条館で、妙心寺派僧侶のご指導の下、坐禅を体験できます。

日時：2009年1月23日(金)、1月28日(水)、2月4日(水)、

2月11日(水・祝)、2月18日(水)に各日2回ずつ(11:00、14:00)

会場：九条館(東京国立博物館庭園内) 当日の平成館ラウンジにて受付

禅トーク

若手僧侶が妙心寺派と展覧会の紹介をします。

日時と担当僧侶

2009年1月22日(木) 富岡孝宗師(梅洞寺)

2009年1月29日(木) 山本文溪師(宋雲院)

2009年2月5日(木) 松竹寛山師(平林寺)

2009年2月12日(木) 小林秀嶽師(円光寺)

2009年2月19日(木) 羽賀浩規師(蓮華寺)

2009年2月26日(木) 高橋宗寛師(妙性寺)

11:00、13:00、15:00。各回20分程度。

会場：平成館1階ガイダンスルーム 申込不要

INFORMATION

イベント開催のお知らせ

東京国立博物館コンサート

#カウンターテナーの歌声と出会う待降節のひととき #

日時 12月23日(火・祝) 開演15:00 開場14:30
会場 東京国立博物館 平成館ラウンジ
出演 彌勒忠史(カウンターテナー) 多田聡子(ピアノ)
曲目 G.F.ヘンデル:「かつてなき木陰よ」 オペラ「セルセ」より
A. スカルラッティ:「すみれ」
作者不詳:「アヴェ・マリア(通称 カッチーニのアヴェ・マリア)」
賛美歌111番「アデステ・フィデレス(信心深き者たちよ〜神の御子は)」他

料金 一般 3,000円(全席自由)
※コンサート当日は、コンサートチケットで、平常展をご観覧いただけます。
主催 東京国立博物館
制作協力 瀧井敬子(東京芸術大学演奏芸術センター客員教授)

羽山晃生・羽山弘子ジョイントリサイタル ~オペラの午後~
#年の瀬のひととき愛のオペラでああなたの心に感動を! #

日時 12月28日(日) 開演15:00 開場14:30
会場 東京国立博物館 平成館ラウンジ
出演 羽山弘子(ソプラノ) 羽山晃生(テノール) 佐藤正浩(ピアノ)
池田卓夫(司会)
曲目 グノー:オペラ「ロメオとジュリエット」より
ネッスラー:オペラ「ゼッキンゲン・トランペット吹き」より
ストラヴィンスキー:オペラ「放蕩者のなりゆき」より
ブッチーニ:オペラ「蝶々夫人」より 他

料金 一般 3,000円(全席自由) ※残席僅少
※東京国立博物館平常展観覧券付
(コンサート当日は休館日のため展示はご覧いただけません。)
主催 東京国立博物館
制作協力 瀧井敬子(東京芸術大学演奏芸術センター客員教授)
後援 財団法人 東京二期会/東京オペラ・プロデュース

新春東博寄席

~お正月恒例の落語企画! 博物館で初笑い~

日時 2009年1月11日(日) 開演13:30 開場13:00
会場 東京国立博物館 平成館大講堂
出演 金原亨 馬生・古今亭 菊春・金原亨 馬治・金原亨 馬吉
料金 2,000円(全席自由)
※公演当日は、公演のチケットで、平常展をご観覧いただけます。

東京国立博物館 ニューイヤーコンサート 2009

日本の心~夭折の天才・貴志康一 生誕100年記念

#日本を代表する国際的指揮者・小松一彦の手で甦る昭和初期の天才音楽家・貴志康一の世界! #

日時 2009年1月17日(土) 開演15:00 開場14:30

◆東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・平常展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。賛助会員には、特別会員と維持会員との2種類があります。

年会費

特別会員 100万円以上
維持会員 法人 20万円
個人 5万円

主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

*賛助会員のお申し込みは随時受け付けています。

*お問い合わせ
東京国立博物館総務部 賛助会担当
TEL 03-3822-1111(代)

会場 東京国立博物館 平成館ラウンジ
出演 小松一彦(指揮とお話) 豊田喜代美(ソプラノ) 小坂圭太(ピアノ)
コール・ミレニアム
曲目 貴志康一: 歌曲「天の原」「八重桜」「赤いかんざし」
貴志康一: 歌曲「行脚僧」「かもめ」「花売娘」「風雅小唄」
ヒンデミット: ピアノのための音楽 作品37より第1部 他
料金 一般 3,500円 ※残席僅少
友の会会員・キャンパスメンバーズ会員 3,000円(全席自由)
※コンサート当日、コンサートチケットで、平常展をご観覧いただけます。
※友の会会員、キャンパスメンバーズ会員の方は、ご予約の際にお申し出のうえ、チケット引換時に会員証または学生証をご提示ください。
主催 東京国立博物館/サロン・ド・ソネット

チケットのお求め方法

●当館正門観覧券売場でのチケット販売

受付 開館日の9:30~閉館30分前(月曜休館。月曜が祝休日にあたる場合は翌日休館。12/28~1/1は休館)

●電話予約販売

申込先 東京国立博物館 イベント担当 TEL 03-3821-9270
受付時間 月曜日~金曜日の9:30~17:00(祝休日・年末年始は除く)
引換時間 公演当日、当館正門観覧券売場にて現金引換にてお渡します。
(但し、「羽山晃生・羽山弘子ジョイントリサイタル」のみ、14:00~)
お問い合わせ 東京国立博物館 総務課 イベント担当 TEL 03-3821-9270
月曜日~金曜日の9:30~17:00(祝休日・年末年始は除く)

※各イベント詳細は、当館ホームページでご確認ください。
※お車でのご来館はご遠慮ください。

平成館考古展示室閉室のお知らせ

11月17日(月)~2009年1月1日(木)、平成館考古展示室は展示環境改善作業のため閉室します。

チケットプレゼントのお知らせ

- ◆開山無相大師遠諱650年記念特別展「妙心寺」
本誌2、3ページで紹介した「妙心寺」の招待券を抽選で10組20名様にプレゼントいたします。締め切りは12月23日(火)必着
- ◆慶應義塾創立150年記念「未来をひらく福澤諭吉展」
本誌4、5ページで紹介した「未来をひらく福澤諭吉展」の招待券を抽選で10組20名様にプレゼントいたします。締め切りは12月18日(木)必着
- ◆東京国立博物館オリジナルカレンダー
2009年のカレンダーは「琳派屏風」です。抽選で10名様にプレゼントいたします。締め切りは12月19日(金)必着。カレンダーは年内にお届けいたします。

※プレゼントの応募方法

はがきに、希望するプレゼント名、住所、氏名(ふりがな)、男女、年齢、職業、この号でいちばんおもしろかった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。
発表は発送をもって替えさせていただきます。
〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館
広報室「ニュース12・1月号」プレゼント係

東京国立博物館賛助会員 2008年10月8日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社コア 様
株式会社 精養軒 様
毎日新聞社 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社 大林組 東京本社 様
朝日新聞社 様
株式会社 テルオー・クワンテンプライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
TBS 様
読売新聞東京本社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様

維持会員

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 様
早乙女 節子 様
株式会社 三冷社 様
宇津野 和俊 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
京菓匠 鶴屋吉信 様
株式会社 東京美術 様
服部 禮次郎 様
数内 匡人 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
松本建設株式会社 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保 のり子 様
株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
ココロファニチャー株式会社 様
星壁 由尚 様
株式会社 鴻池組 東京本店 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
帖佐 誠 様
株式会社 古美術数本 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
牧 美也子 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
塚越 香 様
高木 美華子 様
東京電力株式会社 様
山岡 ウウ子 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
鷲塚 泰光 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様

謙慎書道会 様
社団法人 全国学校栄養士協議会 様
山田 泰子 様
近代書道研究所 様
田村 久雄 様
日本畜産興業株式会社 様
高橋 徹 様
米田 隆子 様
網村 安代 様
高橋 良守 様
岡田 博子 様
白井 生三 様
津久井 秀郎 様
藤倉 光夫 様
川澄 祐勝 様
神通 豊 様
永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
石川 公子 様
池田 慶子 様
株式会社 東京書芸館 様
青山 千代 様
藤崎 英喜 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
小川 徳男 様
友景 紀子 様
東野 治之 様
辻 泰二 様
竹下 佳宏 様
松原 聡 様
シズンホールディングス株式会社 様
野澤 智子 様
有賀 浩治 様
吉田 幸弘 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様

池谷 正夫 様
池谷 徳雄 様
脇 素一郎 様
秦 芳彦 様
宇田 左近 様
杉原 健 様
木谷 麒二郎 様
木村 茂直 様
インフォコム株式会社 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
関 哲夫 様
堤 勝代 様
山下 由紀子 様
平井 千恵子 様
高谷 光宏 様
青山 道夫 様
田中 千秋 様
学校法人 大勝学院学園 様
小西 暁也 様
澁谷 洋志 様
山下 照夫 様
小澤 祐子 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
高見 康雄 様
田中 望 様
三井 遠雄 様
坂詰 貴司 様
吉田 靖 様
松本 雅彦 様
明珍 素也 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
(ほか40名2社、順不同)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 年会費 1万円 発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート 一般 4,000円 学生 2,500円

発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

* 京都国立博物館は12月8日より平常展示館の建て替え工事のため平常展示を休止します

◆お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ホームページで

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会

口座番号00160-6-406616

*振替用紙には職業・年齢・性別を楷書でご記入ください

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート

口座番号00140-1-668060

*振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は学校名および学生証番号を楷書でご記入のうえ、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

*振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートチケットが届くまで保管しておいてください

*振替手数料はお客様の負担となります

*郵便振替でのお申し込みには2週間かかります

◆問い合わせ

TEL 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◆お申し込みは郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース

口座番号00100-2-388101

*振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください

*振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください

*振替手数料はお客様のご負担となります

*次号より送付ご希望の場合、締切は1月10日です

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブ更新などの情報をいち早くお届けします *ご登録は<http://www.tnm.jp/>から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30~17:00、4月から11月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、2009年3月28日(土)~9月の土・日・祝・休日は18:00まで(入館は閉館の30分前まで)

休館日 毎週月曜日(祝日、休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日~1月1日)。2009年5月4日(月・祝)~6日(水)は開館し、5月7日(木)休館、6月23日(火)は臨時休館。8月10日(月)は開館。

平常展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

* ()内は20名以上の団体料金

*障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください

*満70歳以上、および高校生以下の方の平常展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*お申し込みの際にご提供いただいた個人情報、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

TOPICS

開催日 2009年1月27日(火)~
2月1日(日)
時間 9時30分~17時
会場 平成館1階 ラウンジ
主催 台東区
共催 東京国立博物館
協力 台東区伝統工芸振興会、台東区
文化振興会
お問い合わせ 台東区役所産業部経営
支援課 TEL 03-5246-1131
※平常展料金でご覧いただけます。

◆「第5回 台東区の伝統工芸職人展」
——暮らしに生きる技——のお知らせ
毎年好評の「台東区の伝統工芸職人展」。
東京国立博物館のある台東区は、江戸文化が栄えてきた町として知られています。
今回は平成館にて伝統工芸のさまざまな分野の職人が製作実演を行います。下町の歴史と風土の中で育まれ受け継がれてきた、職人の本物の技と手作りのぬくもりをご覧ください。



護摩堂の堂内を再現した展示

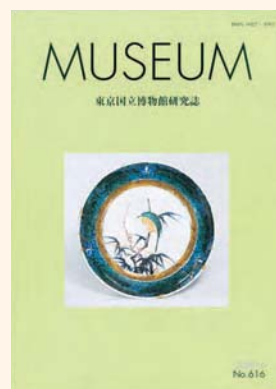
◆「聖なる山の寺宝 醍醐寺・日本密教の僧院」開幕
二〇〇八年四月二十五日から八月二十四日まで(一二二日間(月曜休館、※会期中展示替二回)に渡ってドイツ・ボン市にあるドイツ連邦共和国美術館で開催されました「聖なる山の寺宝 醍醐寺・日本密教の僧院」が開幕、総入場者数は五九、九八八名でした。
真言宗醍醐寺派の総本山醍醐寺(京都・伏見区)の宝物から選ばれた作品一



醍醐寺の仏教を紹介する展示

六五件のうち国宝九件、重要文化財七十五件という、実に半分以上が国指定の文化財で、ヨーロッパにおける日本の展覧会としては過去最大級のものです。奈良時代の国宝「絵因果経」から浜田泰介筆「三寶院大玄関の障壁画」(平成九年)にいたる名宝が勢ぞろいし、密教の歴史と美術を優れた文化財によってヨーロッパで紹介する稀有な機会となりました。

◆MUSEUM 616号
(平成20年10月15日発行)の掲載論文
①「山形市衛守塚二号墳の研究」岡林孝作(奈良県立橿原考古学研究所・日高慎(当館保存修復室・奥山誠義(奈良県立橿原考古学研究所・鈴木裕明(奈良県立橿原考古学研究所)
②「館史研究」東京帝室博物館における文化財疎開の概要と新出資料について」三島貴雄(開日誌(仮称)の紹介を中心に)「三島貴雄(当館登録室)
③「新収品紹介」色絵翡翠図平鉢(今井敦(当館東洋室長)
訂正とお詫び
「博物館エッセ」691号に掲載の「MUSEUM 615号のご案内」において誤植がございましたので訂正してお詫びを申し上げます。
誤 藤岡朝太郎の美術活動研究活動
正 藤岡作太郎の美術研究活動
関係各位にご迷惑をお掛け致しましたこと深くお詫び申し上げます。



◆国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特別展覧会「京都御所ゆかりの名宝」(仮称)2009年1月10日(土)~2月22日(日)

〈奈良国立博物館〉

特集陳列「おん祭と春日信仰の美術」2008年12月6日(土)~2009年1月18日(日)

〈九州国立博物館〉

特別展「工芸のいま 伝統と創造」—九州・沖縄の作家たち— 2009年1月1日(木・祝)~3月15日(日)

2008年
12月

東京国立博物館2008年12月・2009年1月の展示・催し物

2009年
1月

1 MON	休館日
2 TUE	列品解説「浙派と呉派」14:00 本館20室
3 WED	11:00, 15:00
4 THU	14:00
5 FRI	15:00
6 SAT	13:30 14:00 15:00
7 SUN	14:00 11:00, 15:00
8 MON	休館日
9 TUE	列品解説「自在の置物」14:00 本館14室
10 WED	14:00 14:30 14:30 11:00, 15:00
11 THU	14:00 14:00 14:30
12 FRI	15:00
13 SAT	月例講演会「仮名手本忠臣蔵をめぐる、歌舞伎とお話の話し」13:30 平成館大講堂*1 ファミリーワークショップ「唐紙を摺って散らし書きに挑戦!」10:00 平成館小講堂*2 11:30 14:00 14:30 15:00
14 SUN	ファミリーワークショップ「唐紙を摺って散らし書きに挑戦!」10:00 平成館小講堂*2 ワークショップ「唐紙もようのオリジナル料紙をつくってみよう」14:00 平成館小講堂*2 14:00 11:00, 15:00
15 MON	休館日
16 TUE	列品解説「切子ガラス」14:00 本館20室
17 WED	11:00, 15:00
18 THU	14:00
19 FRI	15:00
20 SAT	13:30 14:00 14:30 15:00
21 SUN	12:30, 14:00 14:30 11:00, 15:00
22 MON	休館日
23 TUE	カウンターテナーの歌声と出会う待降節のひとつ 15:00 平成館ラウンジ*3
24 WED	14:00 14:30 11:00, 15:00
25 THU	14:00 14:30
26 FRI	
27 SAT	
28 SUN	休館日 オペラの午後 15:00 平成館ラウンジ*3
29 MON	休館日
30 TUE	休館日
31 WED	休館日

- 人 = ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
冊 = ボランティアによる浮世絵版画展示ガイド、集合場所:本館1階エントランス
磁 = ボランティアによる陶磁エリアガイド、集合場所:本館1階エントランス
彫 = ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
樹 = ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館1階エントランス
考 = ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口
法 = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス
茶 = ボランティアによる応挙館茶会、集合場所:本館1階エントランス
(一般及び大学生は参加費500円、先着30名、開始1時間前に集合場所で整理券配布)
庭 = ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館1階エントランス
(先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)

1 THU	休館日
2 FRI	博物館に初もうで 獅子舞 10:30, 13:00 本館前 和太鼓 11:00, 13:30 正門内池前 江戸売り声 12:00, 14:30 本館前 東博牛めぐり&掛け軸カレンダーづくり*4
3 SAT	獅子舞 10:30, 13:30 本館前 和太鼓 11:00, 13:30 正門内池前 クラリネット・コンサート 12:00, 14:30 平成館ラウンジ 東博牛めぐり&掛け軸カレンダーづくり*4
4 SUN	東博牛めぐり&掛け軸カレンダーづくり*4
5 MON	休館日
6 TUE	列品解説「アイヌの文様」14:00 本館15室
7 WED	14:00 11:00, 15:00
8 THU	14:00 14:00 14:30
9 FRI	14:30 15:00
10 SAT	未来をひらく福澤諭吉展 14:00 14:30 15:00
11 SUN	新春東博寄席 13:30 平成館大講堂*3 14:00 11:00, 15:00
12 MON	記念講演会「私にとっての福澤諭吉」「福澤諭吉の公共性の哲学」13:30 平成館大講堂*5
13 TUE	休館日
14 WED	14:30 14:30 11:00, 15:00
15 THU	14:00
16 FRI	15:00
17 SAT	東京国立博物館 ニューイヤーコンサート 2009 15:00 平成館ラウンジ*3 14:00 13:30 14:30 15:00
18 SUN	記念座談会「古墳時代金属器の修理・模造と復元」13:30 平成館大講堂*1 12:30, 14:00 14:30 14:30 11:00, 15:00
19 MON	休館日
20 TUE	特別展「妙心寺」 列品解説「時絵の流れ」14:00 本館13室
21 WED	14:00 11:00, 15:00
22 THU	禅トーク 11:00, 13:00, 15:00*6 14:00 14:30
23 FRI	坐禅会 11:00, 14:00*6 14:30 15:00
24 SAT	記念講演会「禅の絵画」「賊機あり」13:30 平成館大講堂*7 14:00 15:00
25 SUN	14:00 14:00 11:00, 15:00
26 MON	休館日
27 TUE	列品解説「厚板」14:00 本館20室
28 WED	坐禅会 11:00, 14:00*6 14:30 11:00, 15:00
29 THU	禅トーク 11:00, 13:00, 15:00*6 14:00
30 FRI	15:00
31 SAT	月例講演会「繊細華麗なインド細密画の世界」13:30 平成館大講堂*1 14:00 15:00

- 3/8まで 3/1まで
人 = ボランティアによる英語ガイド(本館ハイライト)、集合場所:本館1階エントランス
人 = ボランティアによるガイドツアー「探検!古代エジプト・西アジア」、11:00～、15:00～
集合場所:東洋館エントランス 詳細は本誌12ページをご覧ください
国 = ミュージアムシアター「国宝 金銅灌頂幡」(11/3～) 受付締切 9:50 10:50
11:50 13:50 14:50 15:50 各回30名、受付場所:本館1階エントランス
*1 詳細は本誌13ページをご覧ください *2 事前申込制 申込は締め切りました *3 有料イベントです 詳細は本誌14ページをご覧ください *4 詳細は本誌2ページをご覧ください *5 未来をひらく福澤諭吉展 関連事業 事前申込制 詳細は本誌13ページをご覧ください *6 特別展「妙心寺」関連事業 詳細は本誌13ページをご覧ください *7 特別展「妙心寺」関連事業 事前申込制 詳細は本誌13ページをご覧ください *8 上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください。 *9 屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。